

平成 30 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア II 講座・教授
氏名 Name	宮本 マラシー
専門分野 Academic Field	社会言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	<p>① タイ語の反復語</p> <p>② 日本人のタイ語学習者用の教材作成</p>
<p>① タイ語の反復語：2018 年度には反復が行われる名詞を研究の対象とした。名詞に反復が行われると複数の意味を持つというように反復された名詞の意味を中心に考察されて来た従来の研究とは違い、本研究は反復が行われる名詞の語構成、そして反復された名詞の意味と機能も分析し考察した。反復は多種多様な名詞で行われるが、主に単音節語である単純語において行われ、そこには複数、不特定多数、慣用的な意味など様々な意味的变化が見られる、また反復が行われた名詞は形容詞的及び副詞的機能を持つようになるものも多く見られることが明らかになった。研究の成果は 2019 年 3 月に出版予定の『外国語教育フロンティア』第 2 号（大阪大学外国語学部）に掲載予定。</p> <p>② タイの料理の命名法：タイの料理名に用いられている言葉を分析し、タイの料理名には、調理法語、食材名、味覚語、色彩語等以外にも、民族名、外国の名前、英語や中国語等の借用語が多く用いられていることが明らかになった。またその命名の背景となっている外国人との交流の歴史そしてタイ人の嗜好についても考察した。研究成果は『The Liberal Arts Journal』（Mahidol University）に掲載した。「タイ語における料理の命名」、『The Liberal Arts Journal』、Vol.1、No.2、Mahidol University、pp.55-82。 <a href="http://www.la.mahidol.ac.th/lajournal/index.php/lajournal/article/view/50">http://www.la.mahidol.ac.th/lajournal/index.php/lajournal/article/view/50</a></p> <p>③ タイ語教材作成：タイの大学（チュラーロンコーン大学文学部と工学部、並びにマヒドン大学アジア言語文化研究所）と協力し、昨年度に引き続き、日本人タイ語学習者を対象に基礎語彙及び文法の教材を作成している。</p>	